



ONE ROOF

こころだより

令和3年2月

社会福祉法人東京児童協会 すみだ中和こころ保育園

〒130-0024 墨田区菊川 1-18-5

TEL 03-6666-9449 FAX 03-6666-9446

ピリッとした冷たい空気の中、子どもたちは白い息を吐きつつ元気に戸外で遊んでいます。室内では節分の行事に向けて「あかおにがいいな」「ぼくは、あおいおに！」などと楽しそうに鬼のお面を作っていた子どもたち。各年齢のお面の制作を見ていると、一人ひとりの個性がよく出ていて見てとても楽しくなる作品ができました。節分には、季節を分けるという意味があるのはご存知ですか？暦の上ではもう春です。ぜひご家族でも一足早い春探しをしてみてくださいね。

コロナ感染症の関係で再開ができていなかった幼児クラスの特別活動も12月より実施できるようになり、異文化交流とスポーツ教室をおこなうことができるようになりました。

異文化交流の講師の先生を見て知っている英語で話そうと乳児でも思うのか2歳児クラスの男の子が講師の先生の前を通り過ぎる際に「カップケーキ！」と一生懸命伝えていました。「カップケーキ好きなの？」とやりとりする微笑ましいエピソードもあり乳幼児期のうちにいろいろな人との交流があることは改めていいなと思う場面でした。子どもたちは英語に触れることが大好きな様子が活動を見てわかります。スポーツ教室では月組がアルティメット、空手を体験してきました。感染予防対策をしながらどのようにおこなえるかを各園で検討して再開しています。子どもたちは体を動かすことが大切ですね。今年度は実施回数が少なくなりましたが、残りのスポーツ教室も楽しめるようにしていきたいと思います。

乳児の保育室から幼児室へとトコトコと歩いてくる乳児の子どもたちは、お兄さんやお姉さんから声を掛けられることがとても嬉しい様子が見られます。特にあひる組さんは幼児の保育室にも魅力を感じているようです。異年齢児保育が中心なので自然と関わり合いながら生活をしている日常の中で年上児は乳児の年下児をかわいいと言いながらお世話をし、幼児クラスの年下児をリードする、年下児はそれを見て年上児に憧れるという日々を過ごしています。同年齢同士だとうまくいかないことも年上児には「手伝って」と言っているのも子ども同士の関わりを見てわかります。手伝う方も、手伝ってもらう方もその中で自然に育ち合えるのは異年齢児保育ならではの思いです。今年度の残りの2か月、子ども同士が育ち合える保育内容を計画しながら私たち大人も楽しんでいきたいです。引き続き新型コロナウイルスなどの感染症に注意しなければならない季節です。しっかりと子どもたちの健康管理・安全対策に取り組んでまいりたいと思います。規則正しい生活リズムをご家庭でも整えていただけたらと思いますのでご協力よろしく願いいたします。

園長 河野 舞衣子

2月の予定

2日(火) 節分の会

18日(木) 0歳児健診

日時未定 スポーツ教室【月組】

異文化交流①【幼児クラス】

異文化交流②【幼児クラス】

お花の会【月組・星組】



1月の保育



〈 目標 〉

- ・寒い時期を健康に過ごす。
- ・保育者と遊びの中で簡単なやり取りを楽しむ。

絵本やままごと遊びを通して食材に興味を持ち、「(りん)ご!」「ぶ(どう)!」と食材の名前を少しずつ言葉にする姿が見られるようになってきました。食事の際も、“これはなんだろう?”という表情を浮かべながら指を差し、保育者に興味があることを教えてくれています。手掴み食べをしたり、食具を持ったりと意欲的に食べるようになり、保育者に「おいしい?」と聞かれて嬉しそうに頷く姿が可愛らしいです。中には苦手な食材もありますが、保育者が量を調節することで少しずつ口に運ぼうとするこも増え、完食すると“食べられたよ!”とピカピカになったお皿の中を見せてくれています。今後も個々の姿をよく観察し、気持ちに応えながら楽しい雰囲気の中で食事ができるようにしていきたいです。

〈 お楽しみ 〉

- ・節分やひな祭りの絵本・歌に親しもう!
- ・お兄さん、お姉さんと一緒に公園で遊ぼう!



〈 目標 〉

- ・保育者が見守る中で、自分でできる身の回りのことを自分でやってみる。
- ・他児との関わりの中で、自分の気持ちを言葉や動作で伝えながらやり取りを楽しむ。

最近では活動前や昼食前に簡単なお集まりをしています。保育者が絵本を選んでいると、「〇〇がいい」等と絵本や紙芝居のリクエストをしてくれる子もいます。お話を少しずつ理解してきているようで、内容に合わせて絵本に出てくる登場人物の表情や仕草を真似したり、「えんえんしてるね」「〇〇あったね」と教えてくれたりして楽しむ姿が多く見られてきました。

また、遊びの中であひる組と関わる機会を設け、一緒に周辺散歩に出掛け乗り物や草花の探索を楽しんだり、公園の広場で身体を動かしたりしています。年下児の存在にも少しずつ気付き、目線を合わせて声を掛けたり、優しく頭を撫でたりする姿が見られるようになりました。これからも友達同士や年下児との関わり方を丁寧に伝えながら、戸外活動や室内遊びを楽しんでいきたいと思ひます。

〈 お楽しみ 〉

- ・雑祭り製作や節分の会を楽しもう!
- ・戸外で遊具や広場で身体を動かして、遊ぼう!



〈 目標 〉

- ・保育者に見守られながら、身の回りの事を自分でやってみようとする。
- ・運動遊びや製作等、様々な活動に意欲を持って取り組む。

お正月ならではの伝承遊びに親しみ、凧作りや駒作りをしました。「凧ってなに? どうやって遊ぶの?」と思ひ思ひにシール貼りやお絵描きをしています。完成した凧を公園で揚げてみると「高いね!」「泳いでるみたいだね!」と元気に広場を駆け回る姿が見られました。また、室内では手作りの福笑いや紙コップけん玉等にも興味を示し、普段とは違った遊びを楽しんでいます。

幼児クラスへの進級に向けて、ランチルームの一角に製作コーナーを設けました。糊貼りやクレヨン、シール貼り等、好きな遊びを自分で選び、道具の準備から片付けまでのやり方を伝えています。「今日は糊貼りしたい!」と伝えてくれる子もおり、お兄さんやお姉さん達のように様々な道具を使って遊ぶことを楽しみにしているようです。日中や夕方の時間に製作コーナーで遊べる時間を作り、少しずつ進級に向けての意識や期待感を持てるようにしていきたいと思ひます。

〈 お楽しみ 〉

- ・節分の会に参加したり、ひな祭り製作をしたりして日本の行事を知ろう!
- ・年上児との関わりを楽しもう!



〈 目標 〉

- ・自ら感染予防に努め、健康に過ごす。
- ・他児や異年齢児と関わり合いながら、一緒に遊ぶことを楽しむ。



○花組

新しい年が始まり伝承遊びや正月遊びに沢山触れる中で、凧やカルタ作りをしました。空を飛ぶ物等を連想しながら紙全体を使って自由に絵を描いたり出来上がる様子を見て「紙と紐だけでできるの?!」と少ない材料で出来上がる事に驚いたりする姿が見られました。また、かるた作りでは、「い」はいちご!」「こ」はこま!」等と頭文字からイメージを膨らませて絵を描いたり色を塗ったりして作る事を楽しんでいます。出来上がったかるたは年上児にルールを教えてもらい仲良しペアでチームを組んで遊びました。中々取れずに悔しがる姿もありましたが、「どうしたら取れるの?」と積極的に年上児に質問したり「絶対取るぞ!」と同じチームの友達と意気込み、一枚でも取る事が出来るとハイタッチをして喜びあっていました。

様々な遊びを知る中で、作った物で遊ぶ楽しさや新しいルールを覚える面白さを感じ始めています。今後も遊びの中で他児との関わりを広げ、集団で一つの遊びを進めていく楽しさが味わえるようにしていきたいです。

○星組

星組として過ごす日々も残り2か月となり、少しずつ進級を意識しながら生活するようになりました。特に着替えや食事、手洗い・うがいをする場面では、「もうすぐ月組だから格好良く着替えよう!」「花組さんの見本になれるように頑張ろうね」等、子どもたち同士が声を掛け合う姿も見られています。こまめに行っている支度かごの整理整頓も徐々に身に付いてきました。扉付きの支度棚を使うことに憧れを抱く姿も見られているので、今後も定期的に整理をする機会を設け、習慣付けていきたいと思えます。また、友だちとの関わりの中では、自分の思いを伝え、相手の気持ちを聞き入れながら遊びを展開したり、時には自分たちでトラブルを解決できたりするようにもなりました。今後も子どもたちの意欲を大切にし温かく見守りながらも、一人ひとりの不安や葛藤を受け止め、自信を持って過ごすことが出来るようにしていきたいです。

○月組

節分の日に向けて、張り子のお面製作をしました。水糊で新聞紙をまんべんなく風船に貼り、その上に和紙を貼って絵具を塗るとい、根気のいる作業が何日も続きます。思うように作業が進まない際は気持ちが折れそうになることもありましたが、「もう少しだから頑張ろう!」と友達同士で励まし合い、最後まで投げ出さずにやり遂げる姿が見られました。節分の会で完成したお面を披露することを楽しみにしています。

また、子ども達の声から星組と一緒にお店屋さんごっこをすることが決まり、話し合いを重ねてきました。お店やチーム決め、商品づくりの仕方や必要な素材など、自分達で考え、活動や自由遊びの中で準備をしています。その中で率先して発言をしたり、困っている年下児の手助けをしたりと年長児らしい姿が多く見られました。友達と同じイメージを共有し、自分達が主体となって遊びを進めていくことで、充実感や達成感を味わえるようにしたいと思います。

〈 お楽しみ 〉

- ・みんなでお店屋さんを開店しよう!
- ・節分の会やひな祭り製作を通して、日本の伝統文化に触れよう!



お知らせ

HPでの掲載は控えさせていただきます。



～感謝して食べよう～



食べ物を育てたり収穫したりする農家や漁師、畜産家などの生産者、食べ物や食事を運ぶ運送業者、食べ物を売る小売店の人、それらを調理する人など、食事にはたくさんの方が関わっており、そのおかげでわたしたちは毎日、おいしい食事をすることができます。また、今月はテーマ野菜の大根を使用した「大根丸ごとランチ」があり、大根の皮や葉も余すことなく料理に使っています。

毎日の食事をいただけることに感謝の気持ちをもって、残さず食べましょう。



～節分について～



節分とは「季節を分ける」という意味があり、四季それぞれにあります。しかし、2月3日の春の節分は一年の区切りとされ、特に大切にされてきました。現在、一般的には冬から春の変わり目の「立春」の前日を「節分」と呼び、新しい季節(歳)を迎えるために豆まきや節分飾りで鬼や邪気を払う習慣とされています。今年地球の公転周期によって、124年ぶりに2月2日が節分となります。

【それぞれの由来】



やいかがし

魔除けの為に飾る
鰯の焼いたときの匂いと柗のトゲで
鬼(邪)を払うとされている



恵方巻

節分の日の夜に、その年の恵方を向いて、
願いを込めながら一言も話さずに食べる
と願いがかなうとも言われている



節分豆

自分の歳の数だけ食べると、体が丈夫
になり病気になりにくいと言われて
いる

園でも大豆や鰯を食べて、身体の中から鬼(邪気)を払います。
ご家庭でも豆まきや恵方巻などで鬼を払い、
新しい1年の為に福を招きましょう♪

※豆まきの際中に、豆を鼻や耳に入れてしまうことがあるので、注意して行ってください。



～豆類について～

穀類に次いで、人類が古くから食用栽培したともいわれる豆類。わたしたち日本人にとってもなじみ深い食材です。日持ちする乾物としても利用されてきました。豆類は、炭水化物、たんぱく質、ビタミン、ミネラル、食物繊維などの栄養素をバランスよく含んでいるため毎日の健康づくりに役立つ優れた食品です。園でも様々な豆を使用しています。ぜひご家庭でもお試しください♪

【園で使用する豆の紹介】



きんときまめ

ビタミン類や鉄、カルシウム、食物繊維を
多く含みます。豆に甘さがあるため、甘煮や
甘納豆に使用します。



あずき

豆の中でもビタミン類や鉄を多く含んで
います。お赤飯やおはぎなどお祝いの際に
使用します。



くろまめ

大豆の仲間で、鉄や食物繊維を多く含みま
す。お正月に食べることが多いですが、甘納
豆やお茶にも使用します。



だいず

「畑の肉」とも言われるほど、たんぱく質
を多く含みます。サラダや煮物、調味料に
も使用します。



ほけんだより

2021年2月発行
すみだ中和こころ保育園

まだまだ寒い日が続いていますが、2月3日は立春です。この日は、春の始まりの日とされています。これから寒い日と暖かい日が交互にやってきます。また、2月2日は節分です。「鬼は外！福は内！」ウイルスが外に出ていきますように！子どもたちがすくすく成長し丈夫で健康な身体になりますよう支援して参ります。



1月の感染症発生状況

0名

感染症のお子さんは、いませんでした。



【 中耳炎 】

耳の鼓膜の内側にある内耳という器官にウイルスや細菌が侵入し炎症を起こした状態のことです。

症状として、発熱、耳痛、耳垂れ、鼓膜の腫れなどです。ですが、乳幼児は、正確に訴える事が出来ないこともあります。機嫌が悪くなったり、しきりに耳を手で触ったり、お子さんの聞こえが悪かったり声の反応に乏しい事が続いたら一度、耳鼻科に受診する事をお勧めします。

【 冬の脱水について 】

大人の感じる気温やのどの渇きだけを指標にせず計画的に水分補給を心掛けることが大切です。

○チェック項目（2つ以上ないか）

- ・不機嫌
- ・食欲がない
- ・眠りがち
- ・便秘
- ・泣いているのに涙なし
- ・尿量少ない

○見て触ってチェックする

- ・口と鼻が乾いている
- ・舌が白い
- ・目がくぼんでいる
- ・皮膚に弾力がない
- ・指先カサカサ

先月、第2回全園児内科健診を実施しています。健診当日に結果をKindyに入力していますので、ご確認をお願いいたします。何かご不明な点がございましたら職員にお知らせ下さい。

【 健康教育 】

先月は、「早寝早起き朝ごはん、うんちのはなし」についてお話ししました。毎日、規則正しい生活を送る事が大切なことを伝えました。また、健康な便の形を伝え、いつもの自分の便と比べてもらいどんな物を食べた方が良いか考えてもらいました。自分の身体について考える良い機会になったのではないのでしょうか。ご家庭でも元気に生活するためには1日3食しっかり食べて、快食・快便・快眠が大切なこととお話ししては、いかがでしょうか。



皆さん、ステイホームが続き、室内にいる時間が増えて日に当たる機会も以前より減っているかもしれません。冬でも日中の陽射しにあたると暖かく感じます。日光浴は、骨の形成を助けたり、自律神経を整え身体の不調を起こりにくくします。私は、休日に愛犬と陽だまりの中、お昼寝をする事がリラックス法の一つです。新型コロナウイルス感染症の増加に伴い、日々のあり方が大きく変化する状況が続いています。中でもストレスをためずに子供たちと健康で楽しく、明るい生活を送りたいですね。